



第3回出動公式記録

R. 1. 0 2004. 6. 4.

2004年1月19日（月）～21日（水） 山口市

山口県精神保健福祉協会CRT委員会／山口県精神保健福祉センター

<http://www.h7.dion.ne.jp/~crt/>

関係者のプライバシーに関わる内容は公式記録には掲載しておりません。
したがって、CRT活動の重要な部分が公表できないことになります。

第3回出動

2004年1月19日（月）午後、山口市で6歳の女兒が母親に殺され、母親は自殺を図るといふ事件が起きました。山口市教育委員会の要請により幼稚園への派遣を決定しました。CRTの対象施設ではなかったため、派遣応諾に当たり以下の3点を確認しました。

- ①幼稚園ではなく自治体（今回は市教委）が依頼元となる
- ②アフターケアも含めて依頼元がケアの責任を持つ
- ③依頼元から2名の職員を派遣する

CRT情報センターへ派遣要請があり4人の隊員がそろうまで4時間でした。

派遣隊員9人 隊長、副長以外の隊員の氏名や所属は公表しておりません

隊長 稲野靖枝（いなのやすえ） 精神科医／長門一ノ宮病院医師
副長 河野通英（かわのみちひで） 精神科医／山口県精神保健福祉センター所長
副長 廣岡逸樹（ひろおかいつき） 臨床心理士／山口県精神保健福祉センター主査
他隊員6人 （精神保健福祉士2、臨床心理士2、児童指導員2）

直接ケア隊員と補助業務隊員

9人の隊員のうち直接ケアを担当するのは5人です。残り4人は補助業務担当で、補給、記録、文書作成などを担当します。

精神保健福祉センター

CRTは山口県精神保健福祉協会と山口県が協働して運用しており、CRTに登録されている精神保健福祉センター職員2名は業務の一環として参加しました。

CRT委員会 2004. 1. 現在

委員長 河野通英（山口県精神保健福祉センター所長／精神科医）
副委員長 稲野靖枝（長門一ノ宮病院医師／精神科医）
副委員長 廣岡逸樹（山口県精神保健福祉センター主査／臨床心理士）
委員 岩城 満（防府海北園園長／情報センター担当）
顧問 藤森和美（聖マリアンナ医学研究所カウンセリング部部長）

C R T 3日間の活動内容

①評価とケアプラン策定の手助け

C R Tは、依頼元が作る現地対策チームの傘下に入って活動します。ケアの主体はあくまで依頼元（市教委）です。

現地には市教委職員が常駐していましたので、市教委・幼稚園職員と随時協議を行いました。3日目には引き継ぎのため山口市から相談員3名が来園、市教委職員を交えた協議の結果、4日目と5日目には相談員が現地に常駐し、その後も臨床心理士が派遣されることとなりましたので、お知らせの文書を市教委とC R Tで作成しました。

②教職員への助言、心理的サポート

C R Tの重要な任務は、教員が自信を持って対処できるようにサポートすることです。教員が安定し、適切な対応ができるようになれば、子どもたちの回復が早くなり、二次被害の拡大を最小限にできるからです。現地では常時教員の相談に応じ、第2回出動のときの資料を用いてレクチャー（心理教育）を行いました。



教員のメンタルケアの一環として、2日目と3日目グループセッションを実施した他、個別カウンセリングを実施しました。

③保護者等への心理教育

保護者の不安が強いため、2日目と3日目に保護者会を開き、C R Tが同席し、説明をしました。また、市教委と協力して保護者向けの文書を作成しました。

④子どもと保護者への応急対応

今回は園児の面接はありませんでしたが、保護者の個別相談（電話・面談）を随時受け付け、数名に対して応急対応しました。

しばしば誤解を受けるところですが、きちんとした個別ケアは精神科医療機関などを受診していただくことが基本です。C R Tにできるのは、被害評価と応急対応までです。

C R T 情報センター 0835-26-1152（子ども家庭支援センター“海北”）

話し中の場合には 0835-22-2044（防府海北園）

※教育委員会または校長（山口県内の小中高校のみ）からの出動要請を24時間受け付けますが、個人からの依頼には対応いたしません。

∴今回は対象外の幼稚園に派遣しましたが、今後も幼稚園に派遣するということではありません。

C R T 3 日間の活動内容

⑤その他（報道対応等）

1 日目の記者会見は教育委員会と園長とで行われました。C R T は 2 日目の記者会見に同席しました。下記文書を用意しました。児童への直接取材の自粛などを依頼しました。



本事件における取材報道について

今回、山口市教育委員会からの C R T 派遣要請を受け、こころのケアのお手伝いをさせていただいております。今回の事件が子どもたちのこころの傷として残らないよう、万全を尽くしたいと思います。

報道関係の皆様におかれましては、子どもたちのこころのケアに配慮いただいた報道を心がけていただいておりますことを感謝申し上げます。引き続き報道に関して配慮をお願い致します。つきましては、お願いしたい点がございます。毎回申し上げていることではございますが、よろしくお願いいたします。

この年齢の子どもにとり、友達が亡くなったという事実を受け止めていくことはとても難しい課題です。戸惑いながらも、子どもなりの理解の方法とペースで少しずつ事態を把握していきます。そういった子どもたちのペースを尊重したいと思います。子どものペースに反して無理矢理直面させることは、こころに傷を与えてしまいます。

子どもたちのこころに不必要な傷を与えないためには、ご家庭と園が平穏で安心できる環境にあることがとても大切です。子どもにカメラを向けることは、たとえ遠くからであっても、幼い子どもには「監視されている」「追いかけている」というような恐怖感を植え付ける可能性があります。ご家庭はもちろんのこと、通園時や園内での活動時、子どもたちにカメラを向けることがございませんよう重ね重ねお願いいたします。

第 1 回出動の際にも申し上げましたが、2001 年の同時多発テロでは、ビルが倒壊していくシーンがテレビで繰り返し報道され、生々しい映像が記憶に焼き付けられてしまったと言われております。哀悼の意味でお亡くなりになったお子さんの写真や遺品などが大きく繰り返し放映されたり、悲劇性を強調した報道がなされると、一部の子どもたちには、そのシーンが記憶に焼き付けられ、いつまでもその焼き付けられた記憶に苛まされるという、「トラウマ後遺症」を残す可能性があります。また、第 1 回と大きく異なるのは、子どもたちの年齢です。どうしてお亡くなりになったかについては、子どもたちの理解を超えておりますが、写真が放送されますと、理解を超えた映像が子どもたちの脳裏に焼き付いてしまう危険性がございます。この点におきましては、十分にご配慮をいただきたいと思います。

申すまでもございませんが、お亡くなりになった子どもさんのご親族につきましては、格別な配慮や見守りが必要です。どうか、よろしくお願いいたします。

※ご遺族の意向に添い、密葬に報道関係者の姿は見えなかったと聞いております。

中期対応について

C R T は 3 日間のみの緊急対応サポートを目的としており、中期対応のサポートは行いません。中期対応は依頼元が中心となって計画することになるため、C R T は計画策定に協力しました。3 日ですべてを終えることはできず、いろいろな課題が積み残しとなりました。C R T 撤収後に臨床心理士 2 人ペアで 4 回程度訪問し、評価や助言を行うチームが必要だと痛感しました。

∴幼稚園はスタッフが少なく、市教委の応援を得てもなおマンパワー不足は免れませんでした。そのため C R T は多忙を極めました、実行できることは限られました。また、空間が狭く C R T の控え室が確保できず、緊張が続きました。幼稚園のスタッフも同じだったのではないかと思います。

C R T 3 日間の動き

●出動 1月19日（月）

- 15:30 CRT情報センターに派遣要請が入り、稲野・廣岡副委員長へ報告
稲野副委員長より依頼元へ連絡
- 16:20 稲野副委員長、河野委員長協議。派遣条件を確認
稲野副委員長より依頼元へ連絡。派遣条件を示した上で派遣決定
稲野隊長よりCRT情報センターに隊員の仮確認指示
CRT情報センターより隊員の仮確認結果報告
先遣隊員を決定し、CRT情報センターから各隊員に出動要請
- 19:30 稲野隊長（精神科医）、河野副長（〃）、廣岡副長（臨床心理士）、他2
（精神保健福祉士、臨床心理士）の計5人到着

●1日目の活動 1月19日（月）

- 19:30 市教育委員会、園側と直ちに協議開始。遅れて4人到着、計9人体制
- ～21:30 廣岡副長他2人分遣隊
保護者向け文書作成、子どもにどう伝えるか、記者会見のこと等協議
この間マスコミとの電話でのやりとりあり
- 2:30 隊員9人全員現地を出る

●2日目の活動 1月20日（火）

- 7:25 稲野隊長、河野副長他2人到着、4人体制でスタート
- 7:50 協議開始 教師から子どもの様子確認 マスコミとの電話対応あり
- 7:45～9:00 補助業務隊員2人到着、7人体制となる
- 9:15～9:45 保護者会出席、質疑応答
- 10:00～10:40 記者会見
- 10:25 希望保護者へCRTが個別面接
- 11:20 子どもの状況を教師から聞く
市教委とアフターケアの協議、保護者向け文書作成
- 14:00 希望保護者への個別面接や電話相談が何人かあり
- 14:45 稲野隊長他1人現地を出る
- 15:00～16:00 教師の心理教育とメンタルケア（集団セッション）
- 16:00～17:00 マスコミ対応
（記者会見を事前に伝えていなかったため、個別対応せざる得なくなった）
- 17:30 隊員5人全員現地を出る

●3日目の活動 1月21日（水）

- 8:25 稲野隊長、河野副長他1人到着、3人体制でスタート
園長、市教委と協議
- 9:45 補助業務隊員1人到着、4人体制
- 10:00 関係各機関へ連絡
- 10:30～11:25 保護者会（約50人）出席、質疑応答
- 11:50 希望保護者へCRTが個別面接
- 13:50～15:15 山口市の相談員を交えてアフターケアについて協議
- 15:00 近くの小学校からCRT情報センターへ支援要請、同じアパートに小学生多数
対応できぬためお断りし、校長に来ていただく 事情聴取同席
- 17:20～17:50 最終協議
- 17:50～18:45 教師のメンタルケア（集団セッション）
- 19:00 撤収 （隊員4人全員現地を出る）

※個別に関わる部分はほとんど公開できないことをご了解ください。